

# 地球時代を生きるための考え方を育む環境教育

## 福山市立駅家西小学校

### 1 活動概要

21世紀の地球時代を生き、「輝きのある未来」にするための教育として、全学年でESD（持続発展教育）を推進している。本校では、3年前から全学年がESD関連カレンダー（各教科等の指導内容をESDの視点で関連付けた年間指導計画）を作成しており、現在は、そのカレンダーを基に各学年が3つの視点（環境教育・多文化国際理解・人権平和）で、系統的に学ぶことができるようカリキュラムを工夫して取組を進めている。

このことにより、児童に持続可能で希望のある未来社会の担い手となるための資質・能力（行動力と実践力）を育むことをねらいとしている。

### 2 本実践事例について

#### （1）本事例実施の背景・これまでの取組

スタートは、6年前に福山市都市交通圏交通円滑化総合計画推進委員会と連携して始めた「学校TFP（トラベル・フィードバック・プラン）」の取組である。今年度の5年生も福山市都市交通課の職員の方を講師に迎え、CO<sub>2</sub>に関する実験を行った。実験結果から、地球温暖化（大きな原因はCO<sub>2</sub>）の問題は、自分たちの住んでいる福山市にもあてはまることに気づき、また、車の利用によってCO<sub>2</sub>が大きく排出されていることを実感できた。児童は、CO<sub>2</sub>排出量を減らすために家の人の「クルマ利用調べ」を行い、具体的な「行動プラン」を作成した。その行動プランを実践することで、CO<sub>2</sub>を確実に減らすことができることを実感するとともに、プランを継続することの難しさを学んだ。

この学びを日々の実践に活かすために、温暖化に対する取組を考え、現在は児童一人一人が環境家計簿（エコ家計簿）の記入を継続したり、校内の「エコ地球環境隊」として水の出しすぎや電気消し等の呼びかけをしたりしている。

#### （2）指導のポイント

- ☆ 単に「車に乗らなければCO<sub>2</sub>は減るから、車に乗らないようにすればいい」という考えを導くのではなく、車を利用せざるを得ない人のことを考えさせたり、CO<sub>2</sub>をなるべく出さない移動方法やそのメリット、デメリットを考えさせたりするなど、多角的に考えさせるようにする。（付けたい力1，2）
- ☆ 地球温暖化の反対論にも目を向けさせ、いろいろな情報を知った上で、自分たちはどう地球温暖化に向き合い何をするかを考えさせる。（付けたい力2）
- ☆ 「ESD関連カレンダー」に基づいて、各教科や領域等で身に付けた知識・技能を活用し「課題意識—課題設定—課題追究—相互交流—実践行動」という問題解決型学習システムをつくる。
- ☆ 地球温暖化の現状の調査、「環境家計簿」の活用など実験や体験等を通して環境問題への意識を高めるとともに、観念的な学習に終始するのではなく、自分たちの生活と密着させながら環境問題を考えていけるようにする。

### 3 学習指導案

◎本時の授業…E S D関連カレンダーに基づいて学んだ各教科の自然や環境に関する学習内容と学校TFPの活動で学んだことを活かし、地球環境を守るためにできることを考えさせる実践である。

#### (1) 本時のねらい

地球温暖化の現状を自分たちの身近な問題として捉え、自分たちにできる取組を考える。

#### (2) 対象学年 第5学年

	学習活動	指導上の留意点	評価
課題把握	1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を把握する。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CO<sub>2</sub>を減らすためにできることを考えよう。</div>	・学校TFPの実験やグループでまとめたことを想起させる。 ・地球温暖化との関係を明確にした板書にする。	
自力解決	3 理想の地球の姿を思い描いてみよう。 4 CO <sub>2</sub> 削減のためにできることを出し合う。 ・個人や家庭・学校全体でできること。 ・他の人や団体をお願いすること。	・理想の姿を思い描き、そこから逆に考え、今何をすべきかを考えさせる(バックキャスト)。 ・(できそうにないと思ったことでも)いいと思うことや、やってみたいと思うことは全て付せんに書かせる。	
集団解決	5 話し合ったことを出し合いまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-around;"> <span>①個人や家庭で </span> <span>②学校全体で </span> <span>③地域等で </span> </div> 6 これからの活動の見通しを話し合う。 ・具体的にどんな方法ですか。 ・取組のために必要なものは何か。 ・いつまでにするのか。 ・実現するために誰にどんな形でお願いするのか。	・模造紙に貼りながら整理させる。 ・なぜそれをするとよいのか根拠を説明しながら発表させる。  ・違う立場の人のことを考えているか、本当にみんなで実行することができるものかを考えさせる。 ・今後の見通しが具体的になるようにする。 ・次時までに自分が何をしておかなければならないのかを確認する。	○地球温暖化の現状を自分たちの身近な問題と捉え、自分たちに実行可能な取組について考えている。
まとめ	7 本時のまとめをする ・一人の一步より百人の一步をめざすことにより、地球を救うことができる。	・児童の言葉でまとめさせる。	

### 4 児童の反応(授業後の感想等)

今日は、地球のためになることを考えました。理想の地球を考えたのと実際の地球とは大きな差があると思いました。ぼくは、家でゲームとテレビの時間を決め守っています。このことを駅西小のみんなが実行すれば二酸化炭素の量を減らすことができると思います。学校の人によびかけることをしていきたいです。

私たちのグループでは、電気を消すことやコンセントをぬくという行動をし続けている人がたくさんいました。10月にある地域の古墳フェスタでもよびかけをしたらいいと思います。たくさんの方が協力すれば、それだけたくさんCO<sub>2</sub>を減らすことができるからです。

